

宮島地域コミュニティだより



平成 24 (2012) 年 1 月 発行

編集・発行／宮島地域コミュニティ推進協議会

TEL : 44-2000 FAX : 44-2196

ホームページ <http://ww7.enjoy.ne.jp/~miyajimacc/komyunithy.html>ブログ <http://miyajima1.exblog.jp/>

宮島地域防災会設立準備会

平成 23 年 1 月 30 日 (水) 18 時 30 分から、宮島市民センター研修室で宮島地域防災会設立準備会第 1 回会議を開催しました。

当日は、社会福祉法人広島県社会福祉協議会 吉野篤史さんを講師に迎えて『災害時における地域の支えあい活動～東日本大震災の対応から考える～』と題して講演をしていただきました。

災害時に、「自助・共助」の観点で、日頃から自分でできることや地域でできることなどの役割分担、要支援者に対するアプローチなど、東日本大震災の支援作業の体験をもとに話をさせていただきました。

講演終了後には、総代会役員グループとコミュニティ役員グループに分かれ、自主防災について意見交換をしました。

非常時の対応について、日頃からの訓練や隣近所との付き合いなどの大切さを改めて認識し、これからの宮島の防災のあり方を振り返ることができた有意義な会となりました。



吉野さんのお話から

☆ 自主防災 ～脱出・避難・救助～
大規模災害の場合
支援が届くまで、自助・共助で

3日間

持ちこたえよう。

☆ 地域のみなとつながろう。

- ・ 地域の現状（災害時の地域も）を地域の皆さんで把握しましょう。
- ・ 地域で予想される災害時の課題や動きを地域の皆さんで共有しましょう。
- ・ 地域の防災力（地域力）を地域の皆さんで見直しましょう。
- ・ そして、災害時には命が失われないよう地域の皆さんで日ごろから支えあいましょう。

☆ 日ごろの地域力が、非常時の底力！

- ・ 日ごろの地域コミュニティでの活動が非常時に、避難、救助、安否確認、消火などの活動に生かされます。

災害時の 3・3・3 の法則

災害時を乗り越える！（緊急対応）

30分	救急体制の確保
3時間	もっとも危険な状況の人への対応
3日（72時間）	安否確認

グループ協議から

- ・ まずは、自助（自分の身は自分で守る）が大切。一人一人が、災害に備えて何をするか、災害時にどう行動すれば良いかが分かるようにしておく必要がある。
- ・ 一部の人だけの自主防災ではなく、皆が取り組むようになってほしい。関心を持ってもらうような啓発が必要。
- ・ まず、区ごとの組織づくりを考えてはどうか。
- ・ 専門の知識や経験を持っている人にリーダーになってほしい。
- ・ 行事など人の集まる機会に、防災の話をしていくといいのではないか。
- ・ 宮島地域は助け合いの土壌はある。どう動くかを決めればいい。

第2回 自主防災会設立準備会

と き 1月23日（月）
18時30分～

と ころ 宮島市民センター研修室

議 題 宮島地域の防災体制

- ・ 区や町内での取り組み
- ・ 各区の人材候補
- ・ コミュニティ推進協議会、各種団体の取り組み

※ どなたでも、傍聴できます。

環境学習会 開催

平成23年12月9日（金） 13時30分から、宮島市民センター3階研修室で、環境講演会を開催しました。

テーマは「考えよう！環境あれこれ ～ニュージーランドの発電事情～」と題し、講師にリサ・ジャンさん（廿日市市国際交流員）を招いて行いました。

ニュージーランドの地理・歴史・気候の話から始まって、風力・地熱・水力といった自然エネルギーを活用した発電事情などについて、エピソードを交えて、お話いただきました。

特に「非核法」を制定しているニュージーランドでは、「原子力利用は絶対にしない」ということが、国民の中にも浸透しており、福島原子力発電所事故を踏まえて、『日本国民が電力などエネルギー問題をどう捉えていけばいいか』という参考にもなりました。

講演終了後、多くの質問が出るなど、受講者も積極的に参加し、実り多い会となりました。

皆さんも一度あらためて、身近にある電気などのエネルギー問題を考えてみませんか？

考えよう！
環境あれこれ

編集後記

ご町内の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は大災害が多く起きました。自主防災会の重要性を痛感したのは、私だけではないと考えます。各地区にて、自主防災会が誕生しました。自主防災組織は、考え方として、初期段階、他人を守るためではなく、まず、自分自身を守るために設立するという考え方が重要と思います。我々も自主防災会を早急に進めなくてはなりません。7年前の白糸川の土石流災害を教訓にして大災害に強い島にしなくてはなりません。大災害が発生した場合、3日間が明暗を分けると言われます。

本年は、NHK 大河ドラマで平清盛の放送が始まり、多くの観光客を迎えます。先人達が残してくれた宝島を我々の手で守らなければなりません。

今年も自主防災会の準備にご理解ご協力をお願いいたします。

総代会会長 正木文雄